JASDAQ

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名　エステール株式会社　　上場取引所　JQ
コード番号　7872　URL　http://www.estelle.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）丸山 朝
問合せ先責任者　（役職名）取締役　（氏名）小安 亮　TEL 03-5360-2460

四半期報告書提出予定日　平成21年2月13日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	22,225	—	94	—	△217	—	△624	—
20年3月期第3四半期	12,649	△2.5	325	△39.8	△25	—	△148	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△113.84	—
20年3月期第3四半期	△26.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	35,087	10,532	18.7	1,196.16
20年3月期	36,193	11,415	20.5	1,349.46

（参考）自己資本　21年3月期第3四半期 6,566百万円　20年3月期 7,407百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	17.50	17.50
21年3月期	—	0.00	—	———	———
21年3月期（予想）	———	———	———	（未定）	（未定）

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　有
現時点では期末配当予想額は未定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,300	36.5	150	△84.9	△380	—	△750	—	△136.63

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　無
新規　— 社（社名　　）　除外　— 社（社名　　）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有
（注）詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無
（注）詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年3月期第3四半期	5,600,000株	20年3月期	5,600,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	110,751株	20年3月期	110,750株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年3月期第3四半期	5,489,249株	20年3月期第3四半期	5,525,742株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
1. 平成20年11月11日公表の業績予想を修正しております。詳細は本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
3. 平成21年3月期の期末配当予想額につきましては、今後の動向を見極める必要があると判断されることから、現時点では未定とさせていただきます。当期の業績実績等を総合的に勘案した上で予想を確定し、速やかに開示いたします。
4. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業部門では、米国の急速な信用収縮に端を発した世界経済の低迷と円高などにより、国内景気を牽引してきた輸出関連産業を中心に企業業績は急速に悪化し、また、個人消費では、輸出の急減速等を背景として製造業で雇用調整が広がるなど雇用環境が悪化し、雇用不安へと連鎖したことなどから、消費者心理の冷え込みが顕著となり低迷いたしました。

宝飾品製造小売を主たる事業とする当社においても、高額商品の不振などにより店舗売上が既存店で前年を大幅に下回るなど、消費低迷の逆風をまともに受ける結果となりました。

以上の状況の下、店舗展開としては、当社では、不採算店舗の圧縮を進めた結果、新規出店７店、退店14店で当四半期末の店舗数は222店となり、あずみ株式会社では、新規出店５店、退店４店で196店となりました。また、メガネ小売のキンバレー株式会社では、新規出店７店、退店２店で36店となりました。また、営業施策としては、前期に子会社となったあずみ株式会社とのシナジーの最大化を図るため、売れ筋商品の相互供給や共同の販売企画を実施してまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高では平成19年12月に連結子会社となったあずみ株式会社の業績の寄与等により222億25百万円（前年同期売上高126億49百万円）となりましたが、営業利益では既存店の販売不振等により94百万円（同営業利益３億25百万円）、経常利益では海外子会社の円建債務等で発生した為替差損１億円等により経常損失２億17百万円（同経常損失25百万円）となり、四半期純利益は投資有価証券評価損68百万円等の特別損失２億10百万円及び繰延税金資産の一部取崩しを含む法人税等２億19百万円等により四半期純損失６億24百万円（同四半期純損失１億48百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

＜宝飾品小売事業＞

当第３四半期連結累計期間の宝飾品小売事業の売上高は208億28百万円となり、営業損失40百万円となりました。

＜宝飾品小売事業＞

当第３四半期連結累計期間の宝飾品卸売事業の売上高は13億96百万円となり、営業利益は１億28百万円となりました。

上記セグメントの業績の営業利益については、セグメント間取引消去前の金額を記載しております。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末の42億35百万円より17億56百万円減少し、24億79百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは11億84百万円の支出となりました。これは主に減価償却費３億59百万円等の資金増加と、たな卸資産の増加５億91百万円、法人税等の支払額４億53百万円、税金等調整前四半期純損失３億68百万円及び賞与引当金の減少２億２百万円等の資金減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは２億９百万円の支出となりました。これは主に敷金保証金の返還５億10百万円等の収入と、固定資産の取得４億36百万円、敷金保証金の差入れ２億17百万円及び定期預金の増加27百万円（純額）等の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは３億58百万円の支出となりました。これは主に短期借入金の増加420百万円（純額）及び社債による収入82百万円（純額）の収入と、長期借入金の減少６億10百万円（純額）、配当金の支払94百万円、子会社株主への配当金の支払84百万円及び割賦債務の返済64百万円等の支出によるものであります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、また、平成20年11月11日公表の業績予想修正の時点から個人消費等の経営環境が更に悪化しており、当期中の回復を見込むことが困難な状況であることから平成21年３月期通期の連結及び個別業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の国内連結子会社において、貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第３四半期連結累計期間末におけるたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し、第２四半期連結累計期間末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している減価償却資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングに前連結会計年度末以降に生じた経営環境及び一時差異の発生等の著しい変化を加味する方法により算定しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（会計基準等の改正に伴う変更）

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益への影響額は軽微であります。

また、セグメント情報に与える影響も軽微であるため、記載を省略しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第１四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）が平成20年４月１日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第１四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が第１四半期連結会計期間前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,960,413	4,689,854
受取手形及び売掛金	2,849,242	2,682,572
商品	5,071,826	4,738,505
製品	6,981,924	6,671,162
原材料	1,768,825	1,687,374
仕掛品	1,445,071	1,574,727
その他	1,171,738	1,156,859
貸倒引当金	△13,279	△14,153
流動資産合計	22,235,761	23,186,902
固定資産		
有形固定資産	3,195,186	3,067,144
無形固定資産	169,205	86,505
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,335,934	6,571,033
その他	3,162,820	3,296,118
貸倒引当金	△11,140	△14,616
投資その他の資産合計	9,487,614	9,852,535
固定資産合計	12,852,005	13,006,185
資産合計	35,087,767	36,193,088
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,519,477	1,354,838
短期借入金	770,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	5,251,650	4,852,600
1年内償還予定の社債	1,110,000	1,020,000
未払法人税等	228,204	494,686
引当金	166,098	412,198
その他	3,056,845	2,863,877
流動負債合計	12,102,276	11,348,200
固定負債		
社債	2,410,000	2,380,000
長期借入金	8,024,600	9,033,900
退職給付引当金	1,126,452	1,112,556
役員退職慰労引当金	369,621	416,162
負ののれん	109,348	134,618
その他	413,186	352,423
固定負債合計	12,453,209	13,429,660
負債合計	24,555,485	24,777,861

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571,841	1,571,841
資本剰余金	1,493,512	1,493,512
利益剰余金	3,505,461	4,225,356
自己株式	△70,733	△70,733
株主資本合計	6,500,080	7,219,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82,827	183,016
為替換算調整勘定	△16,864	4,544
評価・換算差額等合計	65,963	187,560
少数株主持分	3,966,238	4,007,689
純資産合計	10,532,282	11,415,226
負債純資産合計	35,087,767	36,193,088

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
売上高	22,225,152
売上原価	8,976,464
売上総利益	13,248,688
販売費及び一般管理費	13,154,045
営業利益	94,643
営業外収益	
受取利息	17,799
受取配当金	36,332
負ののれん償却額	25,309
持分法による投資利益	13,874
受取手数料	60,522
その他	76,519
営業外収益合計	230,357
営業外費用	
支払利息	358,033
為替差損	100,761
その他	83,364
営業外費用合計	542,159
経常損失（△）	△217,158
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2,313
投資有価証券売却益	639
退職給付制度改定益	38,442
受取補償金	17,082
特別利益合計	58,479
特別損失	
固定資産除売却損	46,706
関係会社株式売却損	223
店舗閉鎖損失	19,477
減損損失	51,491
事務所移転費用	11,559
役員退職慰労金	12,737
投資有価証券評価損	68,036
特別損失合計	210,231
税金等調整前四半期純損失（△）	△368,910
法人税等	219,170
少数株主利益	36,815
四半期純損失（△）	△624,895

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△368,910
減価償却費	359,073
減損損失	51,491
投資有価証券評価損益（△は益）	68,036
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,350
退職給付引当金の増減額（△は減少）	14,637
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△46,540
賞与引当金の増減額（△は減少）	△202,970
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△10,250
受取利息及び受取配当金	△54,131
支払利息	358,033
売上債権の増減額（△は増加）	△166,860
たな卸資産の増減額（△は増加）	△591,663
仕入債務の増減額（△は減少）	81,730
未払金の増減額（△は減少）	33,719
その他	47,585
小計	△431,368
利息及び配当金の受取額	53,738
利息の支払額	△353,288
法人税等の支払額	△453,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,184,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△227,000
定期預金の払戻による収入	200,000
固定資産の取得による支出	△436,902
敷金及び保証金の差入による支出	△217,265
敷金及び保証金の回収による収入	510,628
その他	△39,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	420,000
長期借入れによる収入	3,200,000
長期借入金の返済による支出	△3,810,250
社債の発行による収入	962,820
社債の償還による支出	△880,000
割賦債務の返済による支出	△64,131
リース債務の返済による支出	△7,184
配当金の支払額	△94,999
少数株主への配当金の支払額	△84,977
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,186
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,756,441
現金及び現金同等物の期首残高	4,235,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,479,363

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）

	宝飾品小売事業（千円）	宝飾品卸売事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	20,828,633	1,396,519	22,225,152	－	22,225,152
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,380	73,851	80,231	△80,231	－
計	20,835,013	1,470,371	22,305,384	△80,231	22,225,152
営業利益又は損失（△）	△40,428	128,175	87,747	6,896	94,643

（注）１．事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

２．事業区分の主な内容

（１）宝飾品小売事業　　店舗販売・展示会販売等

（２）宝飾品卸売事業　　国内販売・ルート販売等

〔所在地別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90％を超えるため、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10％未満であるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

（１）（要約）四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 （平成20年３月期 第３四半期）
	金額（千円）
Ⅰ　売上高	12,649,431
Ⅱ　売上原価	4,895,783
売上総利益	7,753,648
Ⅲ　販売費及び一般管理費	7,428,081
営業利益	325,566
Ⅳ　営業外収益	159,005
Ⅴ　営業外費用	509,594
経常損失（△）	△25,022
Ⅵ　特別利益	18,761
Ⅶ　特別損失	126,680
税金等調整前四半期純損失（△）	△132,941
税金費用	15,708
四半期純損失（△）	△148,650

（２）（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 （平成20年３月期 第３四半期）
区分	金額（千円）
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△132,941
減価償却費	169,562
関係会社整理損	10,330
減損損失	66,951
貸倒引当金増減額	1,905
役員退職慰労引当金増減額	△24,982
退職給付引当金増減額	9,677
賞与引当金増減額	△5,642
受取利息及び受取配当金	△27,165
支払利息	334,238
持分法による投資損益	△51,282
固定資産除売却損益	49,398
投資有価証券売却益	△221
デリバティブ評価損益	3,468
売上債権の増減額	△261,109
たな卸資産の増減額	△486,601
前渡金の増減額	50,919
仕入債務の増減額	△131,480
未払金の増減額	42,228
その他	△13,309
小計	△396,055
利息及び配当金の受取額	82,656
利息の支払額	△337,348
法人税等の支払額	△198,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	△849,419
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△1,833
投資有価証券の売却による収入	10,370
持分法適用会社株式の取得による支出	△23,159
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	605,596
固定資産の取得による支出	△104,245
固定資産の売却による収入	17,899
敷金保証金の差入による支出	△66,199
敷金保証金の返還による収入	350,335
保険積立金の積立による支出	△54,894
保険契約解約による収入	47,836
貸付による支出	△2,000
貸付金の回収による収入	1,055
その他	△10,482
投資活動によるキャッシュ・フロー	770,278
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	2,479,000
長期借入れによる収入	4,083,250
長期借入金の返済による支出	△4,042,100
社債発行による収入	1,358,797
社債の償還による支出	△660,000
割賦取引債務の返済による支出	△43,484
自己株式の取得による支出	△25
配当金の支払額	△97,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,078,046

区分	前年同四半期 (平成20年３月期 第３四半期)
	金額（千円）
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,447
Ⅴ　現金及び現金同等物の増減額	2,993,458
Ⅵ　新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9,170
Ⅶ　子会社間の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,561
Ⅷ　現金及び現金同等物の期首残高	1,098,141
Ⅸ　現金及び現金同等物の四半期末残高	4,102,331